

岐阜県立高山工業高校で防災講座を行いました

令和4年12月15日（木）、雪が舞う中、岐阜県立高山工業高等学校で1年生約100名に防災講座を行いました。学校の近くには苔（すのり）川が流れています。また、今回は飛騨地方で初めての防災講座となりました。

この地域では、平成30年7月豪雨で苔川が氾濫し、高山工業高校も避難所になったそうです。

講座では、まず始めに、この地域も大きな浸水被害を受けた平成30年7月豪雨など過去に発生した水害について学びました。その後、代表12名はVRで、その他の生徒は映像で浸水を疑似体験して避難行動をシミュレーションし、大切な命を守るために自分自身が取る行動を学びました。

講座を通して、生徒からは、「平成30年7月豪雨の警報は覚えている。早く避難して家族の命を守りたい。」「VRを体験して早く避難したいと思った。」「過去に起きた災害が良くわかった。」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

